

**デザインコンペティション2018 in 北海道 AMデザイン部門
予選審査結果**

1. 審査員

審査員長 : 新野 俊樹(東京大学 生産技術研究所 教授)
 審査員 : 川道 昌樹(株式会社ワールドワーク 代表取締役)
 審査員 : 松田 均(経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長補佐)

2. 審査結果

審査員3名による予選審査の結果を以下に示します。

Entry No.	学校(チーム名)	作品名	審査結果
1	苫小牧	かたまり知らずのまっすぐススムくん	予選不通過
2	福井 A	ひもどめくん	予選不通過
3	福井 B	HANDOME	予選不通過
4	石川 A	グラスクリップ	予選不通過
5	福井 C	サウンドディスク	予選通過
6	仙台名取 A	変幻自在! みんなが”ハニカム”サポーター	予選通過
7	仙台名取 B	熱中症さよなら! E-cool	予選不通過
8	新居浜	メジャーリーガー養成ギブス ~おおたに君~	エントリー取り下げ
9	神戸市立 A	3Dホースシューズ	予選通過
10	神戸市立 B	Nomelndes	予選不通過
11	弓削商船	ダーツ競技のための3Dプリントシステム	予選通過
12	明石 A	座・ポーチ	予選不通過
13	明石 B	じゃいロール	予選不通過
14	津山	Tリーグファン養成ギブス	予選通過
15	長野	障がい者を対象とした水分補給支援アイテム	予選不通過
16	一関	Stand by me 卓球 STAND	予選不通過
17	旭川	Dps アウトソール	予選通過
18	茨城	円盤投射機	予選通過
19	岐阜	QR スタンプ	予選不通過
20	北九州	COROMO	予選不通過
21	鶴岡 A	ボノ杭	予選通過
22	鶴岡 B	Tie 0 binder	予選通過
23	和歌山	Slope.C.T	予選不通過
24	函館	SABIUO	予選不通過
25	石川 B	光の鼓	予選不通過
26	石川 C	sprout	予選不通過

予選審査対象: 25チーム
 本選進出9チーム

3. 予選審査総評：審査員が本選出場チームに期待すること

◆新野 俊樹

昨年を上回る数の知恵をこらしたアイデアが応募されました。さまざまなアイデアが出される中で、特に活用性に苦労されている方が多いように感じられました。カスタマイズを活用性の根拠とされる方が多かったのですが、カスタマイズをキーワードとした場合、どのようにカスタマイズするのか、カスタマイズの結果どれだけ製品の価値が上がるのかが重要です。応募されたデザインの中にはカスタマイズするとよいのでAMを使うといった、単にキーワードを示しただけのものも散見されました。また、よく考えれば大量生産でもなんとかなりそうなものもありました。本選考にはアイデアの整理、補強しだいでは優勝を狙えるものだけを厳選しました。活用の仕方と効果を明確に示す、「なるほどその手があったか」と思えるようなプレゼンテーションを期待しています。

◆川道 昌樹

全国からたくさんのお応募作品が集まりました、基準を打ち破り使う人にとって喜びや感動を秘めている斬新なアイデアばかりでした。製品に成るためには、コストパフォーマンスにすぐれ、エンドユーザの生活の質に変化を与える可能性が高いものを優先して選びました。本選ではデザイナーや設計者らが現場に寄り添う事で本質を理解し、AM技術だから可能となる作品と事業性を含めたプレゼンテーションを期待しています。

◆松田 均

今回、応募していただいた作品の中には、独創的で興味深い発想のものが多数あった。それらの中からAM技術を使用する意義が感じられる作品を予選通過とした。本選では、さらに具体的な作品へと仕上げ、説得力のあるプレゼンを期待しています。

4. AM部門実行委員会から参加者の皆様へ

今年度は台風21号および北海道胆振東部地震による被害が発生したにもかかわらず、昨年度よりも、チーム数および人数ともに多い応募をいただきました。この場を借りて、事務局よりお礼申し上げます。

予選審査ではテーマに合った作品であることが分かりやすく説明されていること、および作品に対して評価軸(新規性・独創性、実用性、事業性、活用性)との妥当性と可能性を考えて審査していただきました。

- (1) 本選に向けてブラッシュアップすべき点などのコメントを、10/5(金)を目途に、予選通過チームの担当教員宛てにEメールにて送付します。コメントを参考に提案するアイテムをさらに良いものに仕上げてください。
- (2) プレゼンテーションでは、審査基準である次の4項目について記したスライドおよびポスターを用意し、説明して下さい。また、プレゼンテーション中に、何らかの方法で、作品を実演して見せてください。実演をする上での制約条件については本選要項に詳細を記します。
 - ・新規性・独創性： 現状での社会問題や技術的問題などの解決を前提としたアイデアの新規性・独創性について審査・評価します。新しさ・驚き・ときめき・感動・楽しさを感じさせるアイデアを提示して下さい。また、既存特許への抵触および他の作品や商品の流用などが無いことや、類似商品との違いなどを特許検索の結果などを用いて具体的に示して下さい。
 - ・実用性： 製品化する上での技術的課題の解決およびアイテムの有効性・有用性について審査・評価します。客観的あるいは定量的に評価した結果を提示して下さい。
 - ・事業性： 実用化あるいは製品化した際に予想される事業効果について審査・評価します。収益、ユーザーニーズへのマッチング、生産性とコスト、ブランド化などについて提示して下さい。
 - ・活用性： 付加製造技術(3Dプリンティング)を使うことで初めて生み出される付加価値があるかどうか、他の技術では実現できないかどうかについて審査・評価します。3Dプリンタならではの、3Dプリンタがないと実現できない付加価値を持った製品やサービスを提示して下さい。
- (3) 10/5(金)を目途に、本選要項をデザコンHP上で公開いたします。本選についての詳細は本選要項にて確認して下さい。
- (4) 本選出場にあたり、「募集要項の2. 提案および作品の条件」と「質疑応答」を再度確認し、特に以下の点に注意して下さい。
 - ・3Dプリンタを用いて制作した「作品」を必ず用意して下さい。
 - ・提案内容に第三者のアイデアの盗用や特許等の知的財産権の侵害が無いことを、提案者の責任で必ず確認して下さい。盗用や侵害が判明した場合、受賞取り消しや失格等の処分を科す場合があります。
- (5) 本選出場を辞退されるチームは、10/19(金)までにAMデザイン部門担当事務局まで連絡して下さい。